

その中で田辺運送ユニオンの竹邊さんから闘争報告を受けました。

二〇一〇年三月に解雇されて三年がたった。会社が廃業直後の二〇一一年の八月十七日に大阪府労働委員会から解雇はなかったものとし賃金を支払えの命令を勝ち取り完全勝利した。闘争にとって極めて重要な命令であり本当にうれしかった。

組合潰しのための自己破産攻撃に対して職場に張り付き闘いぬいた。債権者集会も七回を終えた。この回数からしても事件そのものが複雑であり裁判所も慎重であったのが窺える。今月の二七日に



は和歌山地裁において最後の債権者集会が持たれる。

今は更地になった田辺運送の本社を見るととき悔しい思いと経営陣に対して未だに怒りが収まらない。しかし心の何処かです。やっと終わったという思いと感謝の気持ちで一杯です。



大和田委員長に出会わなければ、港合同でなければ最後まで闘うことが出来なかった。と涙ながらに感謝とお礼を語られた。

そして最後に忙しい中、駆けつけて頂いた奥野市会議員より挨拶を受け、昌一金属支部の中崎委員長の団結ガンパローで締



めくり、二部の集会を終えた。

その後、楽しく交流会を行いました。

準備をして頂いた、もちつき実行委員会を始め協力をして頂いた皆さんに感謝を申し上げます。思います。

機関紙編集委員 KY